



変わりゆく小名浜⁽⁶⁾

小名浜港へ向かい、環状線の通称眼鏡トンネルを抜けると目前に見えたのは小名浜の漁業隆盛の一端を

小名浜の漁業隆盛の一端を
けると目前に見えたのは

この魚市場は昭和41年7月1日に、生鮮食料品等の取引の適正化と流通の円滑化を図り、市民生活の安定化に資することを目的に供用が開始された施設ですが、大変狭いうの復興金でそ

大震災からの復興途上でその役割を新魚市場に譲り、建物はその役割を終え、ついにその姿が消えたことに皆さんにお気づきでしようか。

小名浜に生活の拠点を置く多くの方の原風景の1つとして記憶している建物や風景が大きく変わろうとしています。周囲の変化に敏感になり将来の小名浜のあるべき姿を創るために、その変化の工程に参加するようにしてみてはいかがでしょうか。

おなはまガイド

マツブ刷新
来年3月
それらの活動に加え、本年度は、過去2回版を重ねた小名浜ガイドブックの更編集を行います。自分たちが住むまちをもっと知り誇りに思い、そして訪れたり人たちに説明、紹介できるようガイドブックを作成したいと計画しています。完成は28年3月を予定し、委員会メンバーで編集会議

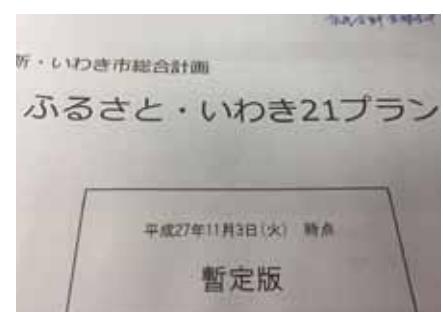


過去2回発刊された
小名浜ガイドマップ
気になる情報が満載
です

発刊予定

各委員会は分かれて「リバウンド・シヨップ」を行い、その計画を受けて市民としての立場から意見交換を行いました。大震災から間もなく5年という月日が経過しようとしています。震災の後遺症と人口減という課題を持つ地方のまちとして、今後の進むべき方向性について参加者全員が真剣な意見交換をしていました。この会議の

A man in a suit stands behind a dark wooden podium, speaking into a microphone. He is gesturing with his hands as he speaks. In front of him, several people are seated around a long, light-colored conference table, looking towards him. The room has white walls and a large whiteboard on an easel in the background.



11月全体会議

中で出されま
た意見は、こね
からのいわき市
生かす方向で検討
ことになりそうで

11月26日（木）まちづくり
りステーションにおいて全
体会議が開催されました

の運営に生かす方向で検討していくことになりそうですね。

発行所
小名浜まちづくり
市民会議
TEL: 52-1275
FAX: 52-1415
発行日
平成27年12月20日

11月26日（木）まちづくり
りステーションにおいて全
体会議が開催されました

業の復活のために、水質・魚介類のモニタリングをしています。試験場は、明治35年(1902)、小名川河口の小名浜古湊(現在・崎荘辺り)に開所しました。



当時の水産試験場付近の風景
は、大きな磐石も、水産試験の発展に、水産試験の存続に、常磐のことを感じます。



▲満腹ツアーだけに食べごたえの料理が並ぶ

県立水産試験場は、現在の坂の途中)にあり、東日本大震災以降、福島の水産業の復活のために、水質・魚介類のモニタリングをしています。試験場は、明治35年(1902)、小名川河口の小名浜古湊(現在・崎荘辺り)に開所しました。野河河測候所も併設。県内の漁業を発展させるために、漁撈・水産加工の製造・養殖の事業を進め、鰯節の品質改善による機関士養成や漁法試験(漁場開拓)などを行いました。その中でも、かまいまほこ製造試験はいわき地区がその後の板からまほこ生産量日本一となる基礎をつくりました。また各種の漁法試験は船大工の養成にも大いに役割を果たしました。その歴史を思う時、今、話題になりました。

例の「秋の満腹ツアー」が11月29日(日)に行われました。毎年恒例の企画で、今回で7回になります。小名浜スタンプクラブ加盟店でお買い物をして、万冊台紙を8冊ためると参加できます。今回の企画は東京小名浜スタンプクラブ加盟店で美味しい昼食、お腹がいっぱいになつたところで、バスツアーで、品川プリンスホテルのランチブッフェで東京スカイツリーを一望。当日は天気も良く、内、外、どちらの眺望を楽しんでいます。



小名浜の大晦日の風物詩「除夜の鐘」を紹介します。富ヶ浦公園入口の高台にある淨光院は、嘉吉3年(1443年)に岩城一円を開基としていた岩城親隆公が開基となり十一面觀音を安置したと伝えられる真言宗の古刹です。

淨光院の鐘は、1748年に鑄造され、有形文化財に指定されています。江戸時代には、内藤露沾によつて小名浜八景の一つ「虎山晚鐘」に撰されています。

大晦日の除夜の鐘は、一般の人たちにも開放し、一年の汚れを払い、新年を迎える福の鐘として、親しまれています。



午前零時を過ぎ新年を迎えると「福の鐘」として希望の参拝者は鐘を撞くことができます。受験生は、高校合格の開運の鐘として願校合格の開運の鐘として願を込めて訪れていました。大晦日午後10時30分からは、小名浜東部会の皆様により、年越しそば、甘酒、

大晦日の除夜の鐘は、一般の人たちにも開放し、一年の汚れを払い、新年を迎える福の鐘として、親しまれています。

午前零時を過ぎ新年を迎えると「福の鐘」として希望の参拝者は鐘を撞くことができます。受験生は、高校合格の開運の鐘として願を込めて訪れていました。大晦日午後10時30分からは、小名浜東部会の皆様により、年越しそば、甘酒、

清酒の無料ご接待や、お年玉福券(108名限定)の催事もあり、例年以上の賑わいになるでしょう。ぜひ一度ご参拝してはいかがでしょうか。



間もなく羊年から、申年へ時のバトンが渡されます。参加者に楽しんで頂けるよう、来年の企画を練り始めます。

何でも、干支にちなみ、申年が故に赤いものに想いを託して赤い衣料関連品が良く売れているようです。一年の始まりと締めくくり。皆さんの目に見える周囲の様子は、前を向いて変化を遂げた1年でしたのでしょうか。

来る平成28年が皆様にとってより良い年になるようご祈念申し上げます。よい年をお迎えください。

1年間ご愛読ありがとうございました。(記F.O)

めぬかるの囁き

確認していきたいもので

小名浜まちづくり市民会議もまちの活性化に向けた

確認していきたいもので

小名浜まちづくり市民会議もまちの活性化に向けた

確認していきたいもので

小名浜まちづくり市民会議とは…

小名浜に住む人、小名浜を心から愛する人、小名浜を輝かせたいと思っている人々が集まり、関係機関・団体と協働で小名浜のまちづくりを進めている団体です。

会員募集

小名浜まちづくり市民会議では随時、会員を募集しています。学生さんも、働くお父さんも、子育てに励むお母さんも、年齢は問いません。皆さんと一緒に素敵な未来の小名浜を創りませんか?

年会費個人会員: 3,000円 企業会員: 20,000円 団体会員: 12,000円

お問い合わせ・お申し込みは: いわき市小名浜字本町11-1(まちづくりステーション小名浜)

TEL: 52-1275 FAX: 52-1415

<http://www.onahama.jp/> E-mail: info@onahama.jp



市民会議では随時FBに活動状況をアップしています。見つけたらぜひ、友達申請 してね!